

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】平成27年8月6日(2015.8.6)

【公開番号】特開2014-46639(P2014-46639A)
 【公開日】平成26年3月17日(2014.3.17)
 【年通号数】公開・登録公報2014-014
 【出願番号】特願2012-193236(P2012-193236)
 【国際特許分類】

B 2 9 C 45/16 (2006.01)
B 4 3 K 3/00 (2006.01)
B 2 9 C 45/26 (2006.01)
B 2 9 C 65/56 (2006.01)
B 2 9 L 23/00 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 45/16
 B 4 3 K 3/00 H
 B 4 3 K 3/00 X
 B 2 9 C 45/26
 B 2 9 C 65/56
 B 2 9 L 23:00

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月19日(2015.6.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明によれば、
 第一の部品を第二の部品に接続することによって形成される筒状体であって、
 第一の部品は、一次成形によって形成される一次成形品と、二次成形によって一次成形品の外表面又は内表面のいずれか一方に形成される二次成形品とから構成され、
 二次成形品は、弾性体から作成され、かつ表面から径方向に突出する凸部を含み、
 第一の部品と第二の部品とが接続されたときに、前記凸部と対向する第二の部品の表面とが互いに当接する、
 筒状体が提供される。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第一の部品を第二の部品に接続することによって形成される筒状体であって、
 第一の部品は、一次成形によって形成される一次成形品と、二次成形によって一次成形品の外表面又は内表面のいずれか一方に形成される二次成形品とから構成され、
 二次成形品は、弾性体から作成され、かつ表面から径方向に突出する凸部を含み、
 第一の部品と第二の部品とが接続されたときに、前記凸部と対向する第二の部品の表面

とが互いに当接する、
筒状体。

【請求項 2】

前記凸部が、第一の部品の二次成形品のゲート残り部である、
請求項 1 に記載の筒状体。

【請求項 3】

第一の部品と第二の部品とが、螺合することによって又はスナップ嵌めによって接続される、

請求項 1 又は 2 に記載の筒状体。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の筒状体を含む軸筒であって、
第一の部品が前軸又は後軸のいずれか一方であり、第二の部品が後軸又は前軸のいずれか他方である、
軸筒。